

CKJS だより



お知らせ

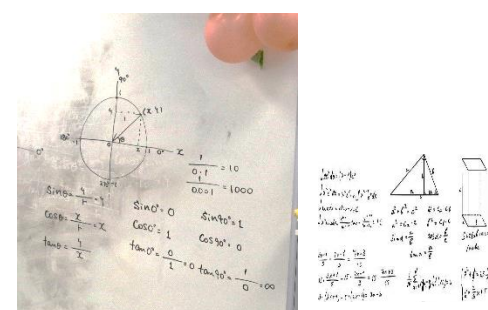
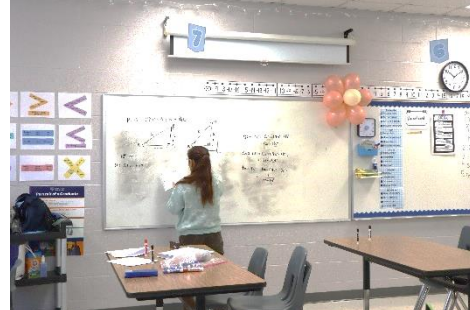
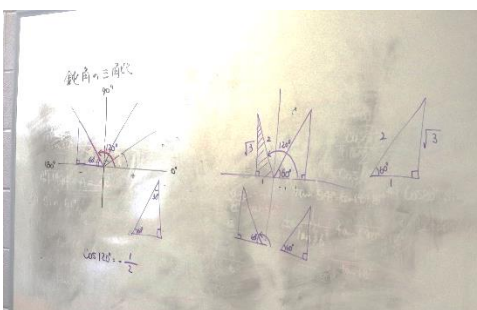
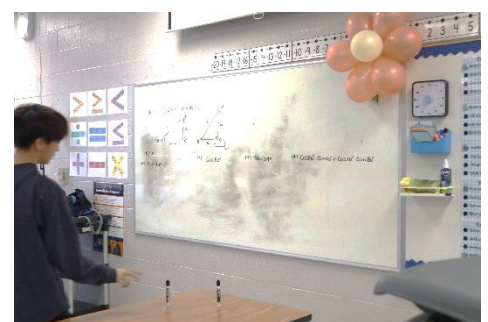
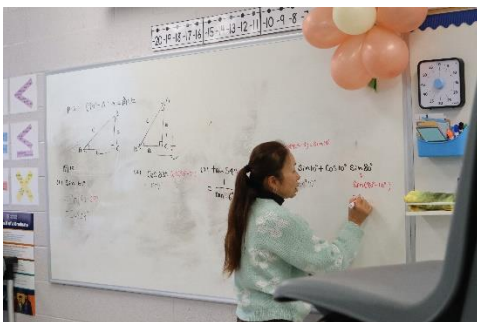


11月16日(土) 12月7日(土)は、現地校(EJヘイズ中学校)のスポーツイベントが開催されます。それに伴い、**オープンスクールは12月14日(土)に変更になりました。**

この2日間は多数の来校者が見込まれ、駐車場や下校時のドライブスルーで混乱が予想されます。通行には十分お気をつけください。また、昼休みの体育館・カフェテリアの使用ができません。

授業中にこんにちは

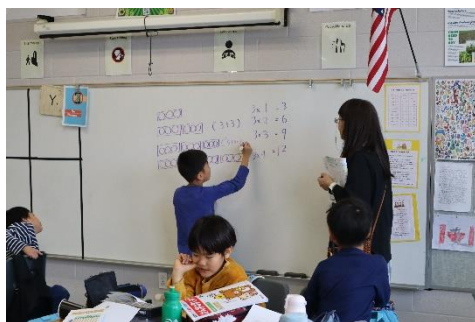
高等部 数学「三角比の相互関係」「鈍角の三角比」



本日の数学は「三角比」。Sin cos tan 高校以来、久しぶりに出会う記号・・・懐かしい・・・う～む、そして難しい・・・でも本校の高等部の皆さんは、出された問題に難なく答えていきます。う、う～む、素晴らしい！なんて優秀なんでしょう。横山先生が丁寧に、わかりやすく説明して下さり、高校時代、数Iが苦手だった私にも、だんだんわかってきました。現地校でも同じ内容を学習するらしく、横山先生は現地校で使う言葉も交えて解説してくださっていました。もう一度学び直そうかな？と思えるほど、楽しい数学の授業でした。

小学2年 算数「九九」

義務教育の国語、理科、社会はスパイラルで学習が進み、算数は階段式に進むと言われます。すなわち、国語や理科、社会は、各学年で難易度を上げながら同じような学習を繰り返すのですが、算数科では、既習事項は身につけているものとして新しい学習が進んでいくのです。小学2年の算数は何といっても「九九」！これがクリアできなければ、次の学年以降のかけ算、わり算、小数、分数の計算についていけません。そのくらい重要です。国内の小学校だと、順、逆順、ランダムと3種類練習します。本校の2年生はというと、すばらしい！本日は3の段と4の段の暗唱をグループごとに行いましたが、ほぼ完璧にできていました。何度も唱えて身に付けることが大事です。おうちでたくさん練習した様子がカードからも分かります。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。



いま 日本では

学校以外の学習記録も成績に反映可に！

今般、不登校児童生徒の努力の成果の適切な評価を促進するため、学校教育法施行規則の一部を改正する省令及び不登校児童生徒が欠席中に行った学習の成果を成績に反映する場合を定める告示が令和6年8月29日に公布され、同日付で施行されました。

補習校では、家庭学習が大事な要素となっており、これまでも学校以外で学習した成果を成績に反映してきましたが、日本国内で、不登校児童生徒に限ってではありますが、校外の学習成果を成績に反映できるようになりました。具体的な取り組み例は以下の通りです。

具体的な取組例

- 1 1人1台端末を活用して、教育支援センターや自宅から学校の授業にオンラインで参加している不登校児童生徒の学習成果を成績に反映。
- 2 学校から届いたプリントや教材等を活用して教育支援センターや自宅で学習した成果を成績に反映。
- 3 フリースクールに対して、定期的に不登校児童生徒の状況をまとめた報告書を学校に提出するように依頼し、学校とフリースクールが直接連絡を取れる体制を整備したうえで、フリースクールで学校の課題や定期テスト等の適切な教材に取り組んでいる不登校児童生徒について、その学習成果を成績に反映。
- 4 民間のeラーニング教材を活用して教育支援センターで学習を行っている不登校児童生徒について、教育支援センターの職員が保護者と連携しつつ、学習状況等を把握し、学校に情報共有することで、その学習成果を成績に反映。

現在日本国内では、不登校児の増加に伴い「一人も取りこぼさない」を合言葉に、学習機会の確保を目指しています。